

# 4月のコース管理データ

	札幌G C 輪厚コース	レインボーヒルズG C	泉C C	コムウッドG C	廣野G C	詫間C C	阿蘇プリンスホテルゴルフ場					
グリーンキーパー氏名	梶原 隆司	安藤 義雄	寺町 章	向居 捷洋	佐藤 慎介	田尾 昭範	布山 光孝					
所在地	北海道	宮城県	千葉県	滋賀県	兵庫県	香川県	熊本県					
ホール数	18	18	27	18	18	18	36					
開場年月日	1958/8/12	1992/6/8	1979/9/5	1993/4/25	1932/6/19	1973/10/1	1990/8/5					
標高 (m)	100 ~ 132	60	23	258	150	0	555 ~ 480					
芝地管理面積 (㎡)	710,000	600,000	690,000	567,369	360,000	462,000	955,577					
その他管理対象面積	44,000	145,000	350,000	433,000	510,000	83,000	858,284					
従業員数	7	9	8	6	16	10	延べ173人					
パート・アルバイト	13	1	11	4	13	0	延べ12人					
外注	なし	なし	あり	あり	なし	あり	あり					
内容			年間樹木管理、除草剤散布	樹木管理		松くい虫防除、地上散布	春季雑草防除散布(延べ14人)					
気温 (右平年差)	3.8	8.5	-1.2	11.8	0.0	12.7	14.1	0.8	15.8	0.0	13.0	1.5
降水量mm(右平年差)	30.1	31.0	-40.0	92.0	-11.0	72.0	43.7	-61.8	29.4	-46.9	148.4	-58.8
晴天日数	15	21	22	18	23	20	19					
曇天日数	9	5	2	5	6	4	4					
雨天日数	4	4	6	7	2	4	7					
降雪日数	2						(降霜2日)					
基礎データ コース管理全般に関して	4月23日オープン予定が前夜からの降雪でオープンできず、翌4月24日のオープンとなった。融雪剤も例年600袋だが、今年は1300袋も使用し、雪の除去、融雪作業に追われた。日々の寒暖差が大きいことから、芝草が順調に生育していない。	4月は寒暖の差が激しく、雨量、湿度ともに平均よりかなり低くなっており、コースが全体的に乾燥気味になっている。	サクラの開花が遅かったが、月の後半になって気温が上がり、結果として平年値との差はなくなった。グリーンについては、早くに更新作業をした為、あまり良くない。5月の管理作業の中で、夏に耐えられるグリーンを作りたい。気象庁の3か月予報では、今年の夏も、猛暑のようだ。また、フェアウェイとラフについては、昨秋の長雨のわりには、立ち上がりが良い。秋の管理作業の結果だと思つた。乗用カ-ト導入で実施した工事で、新規に購入した芝を張っているため、今後のラ-ジパッチの発生には注意したい。	桜の開花が例年より1日ほど遅く、上旬は霜が降りるほど気温が低く、グリーンの更新作業が計画通りに実施できなかった。スーパ-、除草剤散布も雨のため、フェアウェイとラフの間で乾燥が発生した。このために実施した浸透剤の散布、ティフトン芝張替箇所への散水などを考えると、適切な降雨が欲しいところだ。月末には28.1の最高気温を記録し、セミの鳴き声など夏を思わせる天候だった。	芝は全体的には順調に生長しているように思われる。降雨が少なく、ラ-ジパッチの発生が抑えられている。しかし、ティフトン、フェアウェイ、ラフへの目砂と施肥を実施したことやグリーンの一部でスプリンクラーの不良から乾燥が発生した。このために実施した浸透剤の散布、ティフトン芝張替箇所への散水などを考えると、適切な降雨が欲しいところだ。月末には28.1の最高気温を記録し、セミの鳴き声など夏を思わせる天候だった。	平均気温は±0だが、例年に比べると暑くなく、過ごしやすと感じた1か月だった。フェアウェイとティフトングラウンドは、4月の2週目から毎日刈り込みを行っているが、ラフはあまり伸びない。例年であれば、4月20日頃から1回目の刈り込みを行うが、今年は5月の連休明けから行うことにした。雨量も少なく、除草剤の散布なども順調に終えることができた。グリーンも乾燥気味だが、硬さ、転がりなどがあって良い感じになっていると思う。	4月を迎え遅れていた春の訪れが一気にやってきた。上旬には遅れていたコブシが開花を始め、追いかける様に各所の桜が開花。今年の花は例年に比較し、特に鮮やかに感じられた。コブシの開花とともに今シーズンの一連の管理作業がスタートし、土壌処理除草剤の散布、ラ-ジパッチの防除作業、ソメイヨシノの開花を確認しグリーンの更新作業を開始した。雨天により一部の作業が遅れがちなところだが、昨年より雨天日が少ない一連の作業をほぼ計画どおり完了させる事ができた。例年通り16日より3時間中抜けシフトによる勤務時間となり、少人数での作業					
	作業の遅れを液肥と更新作業などで、どう取り戻すか検討している。	グリーンのドライスポットが年々ひどくなってきている。浸透剤を予防で処理し、散水を行い、ドライスポット対策を行ってきたが、ドライスポットが多発している。ル-ベでは炭疽菌は確認できていないが、合併症の恐れもあるので注意したい。	乗用カ-ト工事の残工事も終わりで1か月を過ぎた。設計・工事の担当者として、特段の問題もなく安心している。安全面・雑易度・管理面等総合的に考慮するのが、いかに難しいか、思い知らされた。グリーンについては、5月上旬に旧グリーンでのインター-シ-トを予定している。新品種を予定しているが、十分な観察をして、仕上げてみたいと思つ	散水設備のトラブルが最近多く、夏場までに完全点検を実施予定。今年、ラフにスズメカタビラの発生が少々多く、原因と対応を検討中である。	グリーン周辺にスズメカタビラがやや多く見られ、今秋の除草剤散布作業の変更と散布方法の見直しを考えている。	4月中旬から5月初旬にかけて、楢の葉が入れ代わるため、毎日の落葉の掃除が大変である。多い日はロストボールになる可能性もあり、そのままにしておくと、草の生えやすくなる。なるべく清掃するようにしている。しかし、刈り込み、更新作業など、他に実施しなくてはならない作業も沢山あり、できればこうした作業に手をあまり取られたい。	自動散水の水源となっている調整池内に、昨年末より水草、アカウキ草が発生し、気温の上昇とともにその繁殖面積が拡大している。対策として草魚の投入を計画し、購入の手配を試みたが、春の出荷はどことも終了し、次回の出荷が秋になるとの事だ。そのため、人力による撤去を来月実施する予定。					
課題・問題点												
グリーン	芝品種	ベント	ベント	ベント	ベント	ニシラベ ンクロス	A-2	ベントクロス	ベントクロス	ベントクロス	ベントクロス(西コース)	
	造成・播種・張芝年	H5年に10面播種。H6年に10面張芝	新しいもので8年、古いもので27年	H3年5月	H3年5月	昭和54年	平成15年4月	平成4年5月	昭和64年4月	H8年播種	平成元年3月播種	
	刈高 (mm) <メイン:サブ>	4.5	4.5	4.0	4.0	3.8	4.0	4.2 ~ 4.0	4.2, 4.0	3.7	4.0	
	刈込回数 <メイン:サブ>	毎日 目砂0.9mm厚	3日置き	29	10	20	20	毎日	26	30	30	
	更新作業内容			サッチング 1回、エア レーション 12mm抜き取り、焼砂目	パーティカル 3mm、エア レーション 12mm抜き取り、焼砂目			パーティカル13mm、サッチング+0.1mm、コアリング10mm	目砂0.3mm1回	パーティカル1回、ローラー転圧2回、グルーミング12回、目砂=約0.5ml x 2回	コアリング	
	施肥・活性剤・抑制剤等	ソイルバスター	4/16:液肥 緩効性肥料 33g/㎡	N1.90- P0.50- K3.45、微量 要素剤1回	N3.65- P0.95- K4.50、微量 要素剤2回	ミネラル酵素、アイサ1000倍、サンフューチャー 2.5cc/㎡、スロ-グリーン 2.5g/㎡	CTグリーン、シグマグリーン、1坪マックス10	シグマグリーン2.1g/㎡、タイムリ-1g/㎡、コントロ-ベース2.1ml/㎡、サンハ-ニー1.4ml/㎡	施肥3回 (N4.16-P2.14-K2.26 - Mg4.00-Si1.60)。コアリング前有機液体肥料、コアリング後肉骨粉+植物性アミ-酸+木酢入+珪酸+4%有機スルホン酸100倍液1L/㎡+硫酸苦土混合散布			
	病害	褐色雪腐病	ドライスポット	なし	なし	なし	なし	なし	なし	ダラスポット	ダラスポット	
病害程度	軽微	中							少	少		
コース名称	札幌G C 輪厚コース	レインボーヒルズG C	泉C C	コムウッドG C	廣野G C	詫間C C	阿蘇プリンスホテルゴルフ場					
病害対策		ドライスポット個所に浸透剤を散布処理。炭疽病予防のためにカシマン散布	殺菌剤1回	殺菌剤1回			モノクダシンプフロアブル	5月連休明けに殺菌剤の散布を実施予定	殺菌剤(スポル)600㎡			
虫害		なし	なし	シバツツガ	シバツツガ	なし	クマ、ヤスデ	シバツツガ	なし			
虫害程度				少々	少々		少	少-中				

グリーン	虫害対策			フルスイング(予防散布)	フルスイング(予防散布)	殺虫剤1回	殺虫剤1回		サニーフィールト乳剤	マルチガー ト0.17g/㎡	コアリング後殺虫剤マイクロカプセル剤1000倍液 1L/㎡散布	
	雑草			スズメノカタビラ	スズメノカタビラ	スズメノカタビラ	なし	なし	スズメノカタビラ、苔	なし	スズメノカタビラ	
	雑草程度			少	少				少		少	
	雑草対策			手取除草	手取除草	手取除草			手取除草(スズメノカタビラ、苔)、ゴーレット水和剤	なし		
	オーバーシード											
管理メモ			ドライスポット炭疽病に注意したい	ドライスポットに注意したい	4月下旬よりインター・シートのための更新作業を開始	4月中はあまりよくない	更新作業後、順調に生育している。下旬にドライスポットが出現			ピッチマークも少なく、まですずの状態で、昨年張り替えた芝の部分は、スポットで毎日散水している	ここ数年春のコアリングは3/8時のダブル掛けで、有機物の撤去を主目的に実施し、梅雨明け後は、1/4時に変更して長雨後のガス抜きと散水の効率向上を目的に実施している。秋は1/2時に改良剤の投入とインターシーディングを目的にタインの径をいけている。	
										過去は不良床土の改良を目的に5/8時を使用し年2回強引な更新作業を行い、プレーヤーより悪評を買ったが、排水不良により発生したブラックレイヤー層の撤去を目的に実施した経緯があった。現状で問題点は改善されており、年3度の深度シャットリングとあわせ排水能力においては問題無しと判断している。今月は更新作業後、降雨があり計画では2度の目砂散布が1度になり来月は3度の目砂散布となる		
ティグラウンド	芝品種	ベレニアルライグラス	ベレニアルライグラス	コウライ	ミッドサイト	ブルーグラス	コウライ	コウライ	コウライ	コウライ	コウライ、ティフトン	コウライ、一部ベレニアルライグラス
	刈高(mm)	10.0	10.0	9.0	9.0	10.0	10.0	10.0	7.0	12.0	8.0	
	刈込回数	2日置き	2日置き	1	2	5	2	1	2	3	3	暖地芝2回 寒地芝4回
	更新作業内容			なし	なし	なし	エアレーション10mm	スイーパー3回	サッチング±0mm、コアリング10mm、目砂2.5mm	目砂1回	3	コアリング(使用頻度の高い5800㎡に実施)
	施肥・活性剤・抑制剤等			なし	3/24:液肥	N1.70-P0.33-K1.00	N1.70-P0.33-K1.00	なし	ホルムグリーン(15-10-13)35g	10-10-10液肥8ml/㎡	なし	なし
	病害	褐色雪腐病		春はげ症	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	病害程度	少々		少								
	病害対策					殺菌剤1回			センチネル0.3g	なし		予防散布の実施
	虫害			なし	なし	シバツガ	シバツガ	ミズ	ケラ	コガネムシ(幼虫)		一部コガネ、ヨトウの食害
	虫害程度					少々	少々	少	微	少-中		
	虫害対策			フルスイング(予防散布)	フルスイング(予防散布)	殺虫剤1回	殺虫剤1回		なし	スチオン1-3ml/㎡(スポット散布)	なし	なし
	雑草			スズメノカタビラ、タンポポ	スズメノカタビラ、タンポポ	スズメノカタビラ	なし	スズメノカタビラ	スズメノカタビラ	スズメノカタビラ		広葉雑草
	雑草程度			少	少			少	少	少		少
雑草対策			手取除草	手取除草	手取除草	除草剤1回	手取除草、除草剤全面散布	手取除草(スズメノカタビラ、発芽前処理(グラトップ、インパール、アーシラン))	手取除草、土壌処理剤(イデトップ0.08ml/㎡、ダブルアップ0.045g/㎡)	なし	なし	
オーバーシード												
管理メモ			特になし	特になし		すし切れ個所の張替え	冬期の損傷が多少ある。少しまだらになって全体的に見苦しい所がある					ラージパッチの病斑跡の新芽の発芽状況が芳しくなく、ティグラウンドにて見苦しい箇所が見受けられるが、春ハゲ症の被害は少なく今後順調に生育して行く事を期待している。上旬、使用頻度の高いティ部の約40%にコアリングを実施した
フェアウェイ	芝品種	ベレニアルライグラス		コウライ		コウライ		コウライ	コウライ	コウライ	コウライ	フックコウライ
	刈高(mm)		14.0		18.0		15.0		15.0	9.0	15.0	14.7
	刈込回数	3日置き			1		2		2	3	3	2
	更新作業内容			なし				スイーパー2回	目砂3.3mm、アプローチにコアリングと目砂	バーチカル、スイーパー掛け	スイーパー掛け 1回	
	施肥・活性剤・抑制剤等			なし				なし	ホルムグリーン(15-10-13)32g	なし	なし	なし
	病害	褐色雪腐病、紅色雪腐病		春はげ症		なし		なし	なし	なし		一部ラージパッチ
	病害程度	少々		中								少
	病害対策			なし		殺菌剤1回			センチネル顆粒水和剤0.1g	なし		予防散布の実施
	虫害			コガネムシ(幼虫)		なし		ミズ	なし	なし		特になし
	虫害程度			中				少				
	虫害対策			フルスイング散布		なし			なし	なし		なし
	雑草			タンポポ		なし		スズメノカタビラ	スズメノカタビラ	特になし		スズメノカタビラ、チドメグサ
	雑草程度			少				少	少			少
フェアウェイ	コース名称	札幌GC 輪厚コース		レインボーヒルズGC		泉CC		コムウッドGC		廣野GC	詫間CC	阿蘇プリンスホテルゴルフ場
	雑草対策			除草剤スポット処理		除草剤1回		除草剤全面散布		手取除草	土壌処理剤(イデトップ0.08ml/㎡、ダブルアップ0.045g/㎡)	なし
	オーバーシード											
	管理メモ		雪解けの遅い箇所や停滞水の多い場所が多く、病害対策が実施できていない	今年は春はげ症が目立っている	春の立ち上がりは良い				昨年未までずれ込んだ春ハゲ症対策の薬剤散布の遅れによる影響を心配したが、春ハゲ症の発生は見られなかった			昨年の4月は3度の刈込回数であったが、本年は2度の刈込みとなった。春の到来の遅れが刈込回数に表れており、今後の施肥と入梅前のターフコンディショナーの実施で、通年の乗用ゴルフカーのフェアウェイ走行が可能なターフ作りが始まる
芝品種	ベレニアルライグラス		シバ		シバ		シバ		シバ	シバ	シバ	
刈高(mm)				55		50		50	44	40	45	
刈込回数	まだ、刈込んでいない			0		0		0	1	0	1回目を開始	
更新作業内容			なし					スイーパー2回	目砂3.5g、スライサー	なし	なし	

ラフ

施肥・活性剤・抑制剤等		なし	なし	なし	ホルムグリーン(15-10-13)24g	なし	なし
病害	褐色雪腐病、紅色雪腐病	なし	なし	ラージパッチ	ラージパッチ、春ハゲ症	ラージパッチ	一部ラージパッチ
病害程度	中			少	微	少	少
病害対策		なし	殺菌剤1回	殺菌剤をスポット散布	センチネル顆粒水和剤0.1g/m <sup>2</sup>	なし	予防散布の実施
虫害		コガネムシ(幼虫)	なし	ミス、モグラ	ミス	コガネムシ(幼虫)、シバオサノウムシ(成・幼虫)	下旬一部にてヨドウ食害
虫害程度		中		少	微	少 - 中	
虫害対策		フルスイング散布	なし	なし	なし	フルスイング0.2ml/m <sup>2</sup> 、ビートルコップ0.25ml/m <sup>2</sup>	なし
雑草		スズメノカタビラ、タンポポ、その他広葉雑草	なし	スズメノカタビラ	スズメノカタビラ、タンポポ	スズメノカタビラ	秋期土壌処理剤未散布個所にスズメノカタビラの発生
雑草程度		中		中	少	少 - 中	目立つ
雑草対策		手取除草、除草剤スポット処理	除草剤1回	除草剤スポット散布、全面散布	フルハウス、インブール、アージラン	手取除草、土壌処理剤(イデトップ0.08ml/m <sup>2</sup> 、ダブルアップ0.045g/m <sup>2</sup> )	
管理メモ	病害対策として、更新作業を検討している	特になし	春の立ち上がりは良い	今年は、少しスズメノカタビラが多いように思われる		まだ刈り込みを行っていないために、一部で穂が目立ったりして若干見苦しい。 害虫の発生は、小面積だが密度が高い	コース内のグリーンアップが進むと、秋季に除草剤が散布されていない部分で雑草の発生が目立ち始める。中旬以降に、この雑草を処理するためのロータリーモアの稼働が始まり、コース管理でも2レフシーズンの始まりを改めて認識させられている。今年も巣箱を158個林間ラフの樹木に取りつけた。一部新規に制作し、昨年秋季に取り外し内部を蒸気洗浄したものとあわせ再度設置した。例年秋季に取り外すと約75%で利用された痕跡があり、今年も巣箱を出入りする野鳥を見る